

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パッソン熊本		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82名	(回答者数) 54名
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフの年齢層が幅広く、経験豊富なスタッフからの助言やサポートでスタジオ全体のレベルアップができる。	・多くの経験や知識を持っているスタッフからの研修やアドバイスなどをスタッフ間で共有することでスタッフのレベルアップに繋げている。	・学んだ知識をアウトプットする時間を作ることで、支援の幅を広げていき、支援の質を上げていく。
2	・学校体育を取り入れた運動もおこなうことで、授業への抵抗感が弱まっていく。	・学校体育そのものではなく、同じ道具や同じ動きに触れて慣れていくように工夫している。	・体育だけでなく様々なスポーツや運動を体験する機会を設けていくことで、将来の余暇活動や趣味に繋げていく。
3	・イベントで公共交通機関を使ったイベントや商店街のイベントへの参加など、地域に関わることができる。	・商店街でおこなわれているイベントや催しがあるときは見学に行ったり、体験したりしている。	・イベントとして市電を使ったり、商店街イベントのお手伝いで参加したりして関わりを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との関係性。	・送迎時など、保護者と話ができる時間で上手に話しができていないため。	・スタッフ間で、保護者に伝える事、確認する内容の共有や、悩み事や相談があった時の対応も含スタッフ全員が同じ対応できるようにしていく。
2	・情報の共有不足。	・連絡系統が上手く機能していないことがあり、情報が行き届いていないことがある。	・連絡系統の確立。報告した内容と誰が誰にまでの確認を徹底していく。
3	・運動に特化してきていましたが、これから+@の支援をしていく中で試行錯誤している事。	・運動特化で支援してきましたが、これから運動以外の事でも支援していく中で模索をしている所です。	・運動以外の活動も取り入れ、どういった支援やサポートが必要かをご家庭のニーズを反映しながら、提供していく。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	バツソン熊本		公表日 2025年 10月 20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・利用人数や気温、天気等を考慮し屋外での活動を取り入れている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	2025年10月10日	4	2	・順番を決めたり、着脱完了者には速やかに移動してもらえるように促している。	・入り口での靴の脱着時に混雑することがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・活動前にミーティングをして、利用者の様子を踏まえた内容変更などをおこなっている。 ・終わりのミーティングでも情報の共有をしている。	・当日のみになってしまい、いないスタッフへの共有が抜けていることもある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・面談の機会を設けている。	・意見を出しやすい環境をつくっていく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・必要に応じて研修が開催されている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2	・保護者からの要望を聞きながら作成に繋げている。	・ニーズに合わせて作成はされているが、アセスメントなど全体で確認する機会が少ない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		・話し合い、共有する機会が少ない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・毎日のミーティングを全員でおこなっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・毎日ミーティングで、アイデアを出し合いながらおこなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・状況に応じて、個別対応もおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎日、利用者が来所する前に確認、共有している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・毎日、利用者が来所する前に確認、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		・子どもの様子は日々のミーティング内で話しができていますが、支援計画の見直しまでは出来ていない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・基本的には保護者への連絡を通してのやりとりをしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・全員ではないが、利用者によってはあるときもある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・要望があった時には提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に情報を共有している。	・情報の共有をしているが足りない事も多くある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	4	・必要に応じて対応している。	・対応はしているが・対応はしているが、保護者の納得いく回答ができてない。。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・回数は多くないが、親子イベント等を開催したりしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・事業所発信ではできていないが、地域の行事に参加することはある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・マニュアルはあるが、周知までは完全ではない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・年に2回、地震と火災を想定した避難訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	・医師ではないが、食事などを提供する際には、保護者への確認をとってからおこなっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・毎年年に1回、開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・状況や様子を保護者へ説明している。	